

とよなか自然探訪シリーズ

わがまちの品格 保護樹木・大木・古木を訪ねて

羽鷹池、少路2丁目から島熊山緑地へ



羽鷹下池



島熊山緑地

今回訪ねるのは、起伏に富んだ地域で農耕が営まれていましたが、常に水不足に悩まされ、そのためいくつものため池が作られました。今残されている池は水面に周囲の樹木を映して心なごむ風情があり、人はもとより野鳥や多様な生き物の生息する貴重な自然環境です。

島熊山緑地は地元自治会や自然保護団体などの運動により、2006年大阪府から緑地としてゆずり受けました。譲渡後、島熊山緑地協議会が設立され、豊中市と市民ボランティアにより、隣接する竹林から侵入する竹の間伐や、緑地内の古池の自然度を高める作業など、この地域の古い里山の様相を「生きている博物館」として後世に残す活動がなされています。

この豊中の森へ皆さまお揃いでご参加ください。

と き: 2015年10月15日(木)

13:30~16:00 *小雨決行

集合場所: 大阪モ/レール少路駅前、現地解散(島熊山緑地)

定員: 25人

参加費: 100円(保険代)

服装・持ち物: 歩きやすい服装・筆記具、あれば双眼鏡

申込み: 10月13日(火)までにアジェンダ21へ

TEL: 06-6844-8611(環境交流センター内)

主催: NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会